

## 笠間市管理の橋梁点検結果の公表について

### 1. 橋梁点検の目的 【計画的な修繕】

笠間市が管理する道路橋の維持管理は、日常のパトロールと「損傷が進んでから直し、傷んだら造り替える」という、「対症療法型」の維持管理で実施してきました。しかし、今後老朽化する橋梁の増加にともない、修繕・架け替えに要する費用負担が大きくなることが予想されます。

そこで、笠間市では「損傷の初期段階で修繕し、できる限り長く使い続ける」といった「予防保全型」の維持管理へと転換するとともに、計画的な維持管理の取り組みを行います。

計画的な橋梁の維持管理を行う、橋梁長寿命化修繕計画を策定することで、橋梁の長寿命化を実現するとともに、市内道路網の安全を確保をし、将来的な維持管理費用の大幅な縮減と平準化を図ります。

### 2. 橋梁点検の概要 【笠間市管理の72橋について橋梁点検を実施】

- 現在、笠間市が管理している橋梁の数は、362橋です。その内、橋の長さが15m以上の橋梁を対象(72橋)として、目視判断による橋梁点検を実施しました。その結果を公表します。

- 平成24年度現在、72橋の内、施工後50年を経過した橋梁は1%ですが、5年後には7%、10年後には11%、20年後には32%に増え続け、橋の高齢化が進みます。

(図-1 参照)



図-1 橋の高齢化の予想推移

### 3. 橋の点検項目と点検方法 【目視判断による橋梁点検】

- 橋梁の点検項目としては、国土技術政策総合研究所の「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)」等で点検を行いました。
- 調査手法としては、目視点検を基本として、橋の損傷度合いを確認しました。

### 4. 橋梁点検結果 【重大な損傷は確認されませんでした】

- 橋梁各部材の損傷度合いを確認し、健全度を把握した結果、概ね健全であり、構造的に緊急対策が必要な橋梁はありませんでした。
- 地震の影響により発生した橋梁前後の段差を確認した箇所もありましたが、橋梁本体に構造的な問題となる損傷は認められませんでした。

### 5. 今後の予定 【橋梁長寿命化修繕計画の策定に向けて】

今後、笠間市では橋梁点検の結果をもとに、修繕方法とその時期、修繕費用等を取入れた「橋梁長寿命化修繕計画」を平成26年までに策定します。策定後は修繕計画書をもとにして、効率的かつ計画的な橋梁の維持管理を行い、市内道路網の安全確保と橋の維持管理コストの削減に努めていきます。



昭和橋